

Amami jay / *Garrulus lidthi* / Ruri-kakesu / ルリカケス

カラス科のルリカケスは奄美大島の固有種で、体長 38cm と大きく、黒い顔面にアイボリーホワイトの硬いくちばしを持つ。頭部から胴体からは、コバルトブルーと茶色が胸元から背中で組み合わさり、翼の青と先端の白は飛行中に眼を引く。主に林床で餌をとり、多く自生するスダジイのどんぐりを食すが、どんぐりを木のくぼみや土の中に貯蔵することもあり、森の再生に役立っている。社交的な鳥でもあるルリカケスは繁殖期以外は群れで生活をし、木のくぼみやまれに人の家に巣を作り、卵を産み、ハブから身を守るため、細い枝先で眠る。